

ダイバーシティを尊重する地域づくりを目指して

いちやり場通信

December 2022
No.86

リーガル・ライフサポーター養成講座を実施しました!



WHY?



OIHFが実施する「外国人のための法律・生活相談」の内容は、「在留資格」や「雇用・解雇」、「離婚」や「相続」など、多岐にわたります。そのため通訳者もある程度専門的な知識が必要となり高度な通訳技術を要求されます。そこで、それらの内容を専門的に通訳対応することができる人材を育成する「リーガル・ライフサポーター養成講座」を去る11月11日（金）に沖縄産業支援センターで開催しました。

講座では、福岡出入国在留管理局那覇支局や沖縄労働局から講師をお招きし「在留資格」や「労働基準法」等に関してご講演いただいた他、OIHF職員もこれまでの相談事例を基に関連法令の講義を行いました。

参加者からは「各分野における専門の方々講師であったことは、現状に照らした講義内容だったこと、数々の質問へ即座に回答が得られたことなどとても為になり興味深い内容だった」や「様々な状況において必要とされる知識の多さについて改めて考えさせられる講座だった」等の感想が寄せられました。

今後参加者は認定テストを経てOIHFの「リーガル・ライフサポーター」として修了登録し、専門的な「通訳者」として活動を行います。



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

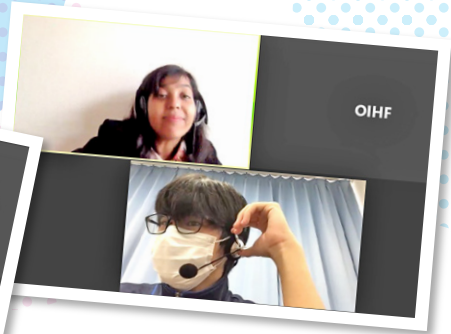
Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation (OIHF)

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

HP:<https://kokusai.oihf.or.jp>

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

FB:<https://www.facebook.com/oihf60>



“The English and Cross-culture Webinar”

開催レポート

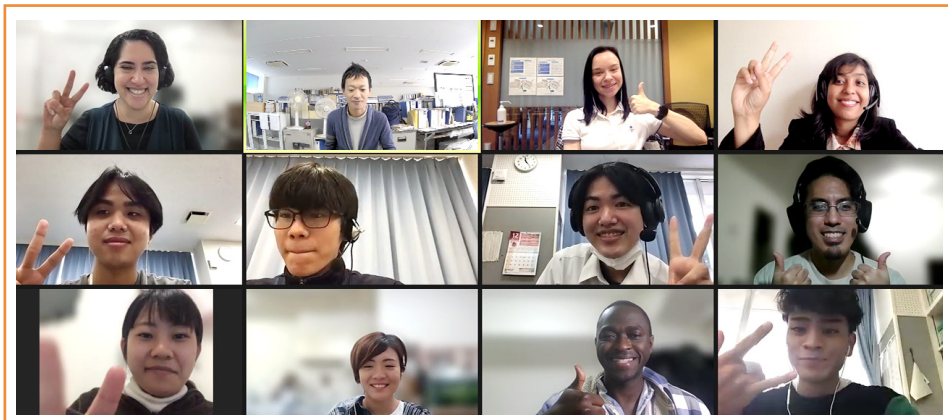
去る9月3日(土)と12月3日(土)に“ENGLISH AND CROSS-CULTURE WEBINAR”を開催しました。ウェビナーではそれぞれ5つのグループに分かれて、参加者が興味を持つトピックについて約2時間英語だけでコミュニケーションを図りました。

参加者からは、「インストラクターの方とのディスカッションを通して、プレゼンテーションをする時に大切なことをたくさん学ぶことが出来た。相手が何を求めている、どう話せば興味を持つのか、ということを手頭に入れておくことや、相手に自分を身近な存在だと思ってもらふことなど、具体的な内容を学ぶことができた。」「外国人研究者と話す貴重な機会でした。英会話の上達法や、研究について質問したりしました。

大体言いたいことは伝わってたけど明らかにBROKEN ENGLISHだったので、普段から英語に触れる機会をもっと増やしてちゃんと話せるようになりたいと思いました。」「英語で話すにしても、言語能力よりもコミュニケーションスキルが大切なことを実感しました。」「相手の文化を知れば知るほど、自分の文化はどうだろうと考えることもできた。このような時間が学校教育の場で設けられたら楽しく学べると感じた。」「インストラクターの方々も参加者の方も、丁寧に自分の話を聞いてくださり、気負わずに英語を話すことができました。でもまだまだパツと言いたいことが出てこなかったり、言葉に詰まってしまうこともあったりと、今後に向けての改善点も見つ

かったので、自発的にアウトプットの機会を設けて取り組んでいきたいです。」などの意見が寄せられました。

次回は2023年2月に開催を予定しています。英語は苦手だけど、サバイバルコミュニケーション力を高めたいと思う人にも本ウェビナーは最適です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



避難所運営訓練・避難所体験会

を開催しました。

11月12日(土)に宜野湾市との共催により宜野湾市立普天間中学校体育館において、「避難所運営訓練/避難所体験会」を実施し、地域住民等120名が参加しました。

避難所とする体育館内に、多言語支援センターを設置し、OIHFが養成する「災害時外国人支援サポーター」とともに避難所を運営しました。訓練中は、コントローラーから様々なシナリオが付与される中、参加者相互の連携を確認しながら対処しました。

訓練の振り返り講師には東日本大震災で避難所運営を2ヶ月間、その後、仮設住宅の自治会長を4年以上務められた防災士の佐藤一男氏を岩手県陸前高田市より招聘し、訓練の講評をいただいた他、「避難所は誰が運営するべきなのか」また避難所内の優先順位や避難所運営訓練のポイントをご講演いただきました。

訓練当日は雷や豪雨などあいにくの天気でしたが、同時開催した「避難所体験会」にも地域住民の皆様にご参加いただくなど、「防災や減災」に対する啓発を図り島嶼県の地域防災力向上に役立てることができました。



宜野湾市災害対策本部



振り返り①



振り返り②



コントローラー(シナリオ付与班)



多言語支援センターの運営



避難者(来場者)対応



避難所での情報集約



避難所運営班調整会議



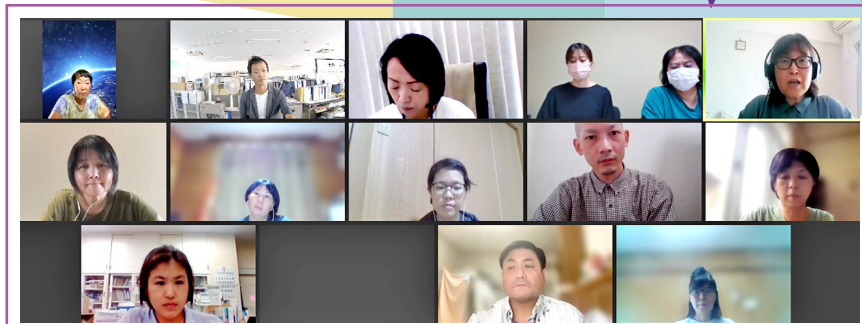
避難所受付・開設

「外国人支援スキルアップウェビナー」

を開催しました!

去る10月1日(土)に在住外国人への相談対応スキル等の向上を図る「外国人支援スキルアップウェビナー」を開催し、15名が参加しました。講師に(公財)兵庫県国際交流協会のスペイン語相談員である村松紀子氏を招聘し、外国人支援のための倫理である「バイスティックの7原則」を概説していただいたあと、相談対応時に想定される様々なケースにおけるワークショップを行いました。

参加者から、次のような様々な感想が寄せられました。



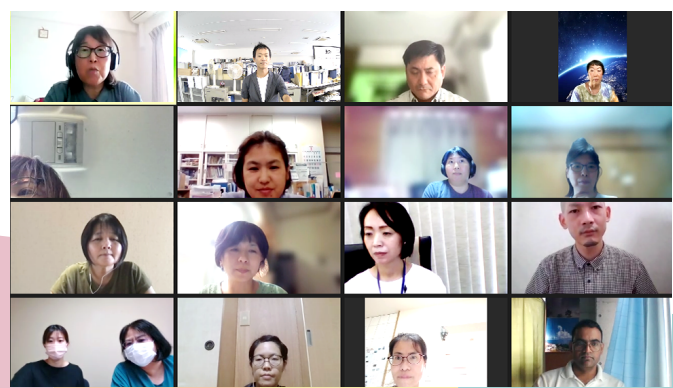
一つの問題に対して、色々な考え方があるんだと思った。自分の価値観にももしかしたら問題があるのかもしれない、という視点等、考えさせられることや気づくことが多々あった。

ワーカーとしても、人としても、誠実で、信頼のできる講師のお話を聞くことができ、刺激的で学びの多いものとなりました。ありがとうございました。

貴重なお話ありがとうございました。昔に比べると外国人に対する日本の受け入れが整えたと感じていましたがまた不十分なところもあるように感じます。「昔」の視点ですと、整えてきましたが、90年代に来た外国人の今の新たな問題や最近日本に来た外国人やこれからくる外個人の今の問題とこれから新たな問題(予想)に対する取り組みが必要と思いました。私の勉強不足かも知れませんが、相談時共感すると言うことが必要と学びました。

グループワークがたくさんありいろいろな意見を聞くことができ良かった。ただ、相談員であるという前提でのワークだったので、外国人からの相談をうけた経験がないのでイメージすることができない場面もたくさんあり、本来のワークの趣旨から外れてしまっていたかもしれないと感じることがあった。最後のワークで、これまでに相談された中で困ったことをピアワークしていた時、経験談は出てこなかったが、ある参加者が海外では相談をする一番最初に、どこまで相談できる範囲なのか、責任範囲はどこまでなのか、守秘義務についてなどの取り決めをするが、日本はそれがとても曖昧だと仰っていた。良い意味でも、悪い意味でも日本人の気質の問題、と話が盛り上がったが、相談者にとって良い人になることが良い相談員ではない、相談者が自己決定をできるように寄り添い、見守り、サポートすることが大切なんだと学べた。2時間半と長いウェビナーだと思ったが、終わってみると時間が足りないくらいだった。

「バイスティックの7原則」というものに無知だったので受講を希望しました。受容、傾聴、寄り添い、自己管理など、相談支援のあり方を再認識できたとともに、特に守秘義務のトピックで、「相談を預かる」「相談は活動」という視点や、チームを作る際には情報を共有する範囲を当事者である相談者も理解する必要があるというご指摘には、目から鱗が落ちたような思いで拝聴しました。貴重な機会を下さりありがとうございました。



グループワークを多く取り入れてくださったおかげで、様々な領域で活動されている専門職の方々から貴重な話を聞くことができ、多くを学ばせていただきました。バイスティックの7原則に沿ってお話いただいた講師の実践例なども大変勉強になりました。今は医療通訊の分野でのみ支援に関わらせていただいておりますが、さらに支援活動の枠を広げられるよう、支援者としての資質を身につけられるよう努めていきたいと思っております。

日本語教室 受講者インタビュー



interview

質問

- ① いつ日本に来ましたか。
- ② いつから日本語を勉強していますか。
- ③ どうして日本語を勉強していますか。
- ④ OIHF での日本語の勉強はどうですか。
- ⑤ 日本語が上手になったら、何がしたいですか。

傅俊杰さん
(中国上海出身)



- ① 2021年1月
- ② 2021年3月から
- ③ 日本で生活のために必要だから。
- ④ 日本語を日常生活とビジネスに役立つ様に勉強がしたいです。
- ⑤ 日本語のテレビ番組を見ます。仕事をしながら日本語の勉強を続けたいです

新的工作是在那霸机场。
也转了工作签证，现在是全职的契约社员。
同事有日本人也有很多尼泊尔来的，每天一起工作的时候都说日语。学习了很多。
还学习了应对客人时候使用一些敬语和礼貌的说话方式。
大家都很優しい可以用这样的方式学日语真的是很好的体验

新しい仕事は那覇空港です。
私も就労ビザで就職し、現在はフルタイムの契約社員です。
同僚にはネパール人も多く、一緒に仕事をするときには毎日日本語で話します。学ぶことが多いです。
また、お客様と接する際の敬語や丁寧な話し方も学びました。
みんなとても優しくこのように日本語を学ぶのは本当に良い経験です。

ニー ジュアンさん
(中国四川省出身)



- ① 2018年7月
- ② 2018年8月から
- ③ 仕事にも必要だし、日常生活にも必要です。
- ④ 先生たちのおかげで多くのビジネス日本語を学ぶことができ、実用的な生活用語も勉強しました。クラスの中で多くの友達と知り合って、とても楽しかったです。
- ⑤ もし日本語が上手になったら、日本人の友達を作ったり、日本の各都市を旅行したいです。

私の出身地は四川省です。四川省は中国の南部に位置し、「天府之国」として知られています。天府とは、外敵からの攻撃を防ぎやすい地形をしていて、作物がよくできる肥えた土地を意味します。広大な四川盆地の自然の恵みで穀物がよく育ちます。

四川省には、素晴らしい自然があり、観光地として有名です。現在、四川省内では、九寨溝、黄龍、樂山、峨眉山、青城山、都江堰の六か所がユネスコの世界遺産に登録されています。それらはいずれも四川の悠久の文化を伝え、或いは風光明媚の地として世界的に知られています。

また、四川省は観光地として人気があるだけでなく、世界的に有名な「美食の都」としてもよく知られています。日本でも人気の麻婆豆腐、回鍋肉、青椒肉絲、担々麵など、これらはすべて四川料理です。私が一番好きな四川料理は麻辣（マラー）火鍋です。そのしびれる辛さには、食欲をそそられます。

以上の理由から、四川省は旅行に行く価値の高い場所です。皆様も機会があればぜひ四川省に旅行に行ってみてください。

第40回 外国人による日本語弁論大会

2023年2月11日(土)にパレット市民劇場(那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F)で開催する「第40回外国人による日本語弁論大会」の弁士を募集します。応募締切は、2023年1月11日(水)17時です。多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

第40回
外国人による
日本語弁論大会

The 40th Japanese Speech Contest for Foreigners
2023. 2/11
Date: Saturday, February 11th, 2023
13:00 ~ 16:00 (Doors open at 12:30)
Venue: Palette Civic Theater
1-1-1 Kumoji, Naha City (Palette Kumoji 9F)

In order to prevent the spread of COVID-19, the number of visitors is subject to change. For more details, please visit OIHF website.

■開催日時／令和5年2月11日(土) 13時00分～16時00分(開場12時30分)
■開催場所／パレット市民劇場 那覇市久茂地1-1-1(パレットくもじ9F)
■協力／パレットグループ
■新コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数を制限する場合があります(定員12名以内)。詳しくは前記ホームページをご覧ください。

主催 (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団
Host: Okinawa International Exchange and Human Resources Development Foundation (OIHF)
TEL: 098-942-9215 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp/> FB: <https://www.facebook.com/oihf60/>

後援 外務省 Ministry of Foreign Affairs of Japan
公益財団法人 沖縄県文化振興会
一般財団法人 リョウぎん国際化振興財団 Bank of the Ryukyus International Foundation
沖縄県教育委員会
在沖米国総領事館

協賛 Our Challenge, Timeless 沖縄セルラー Orion 株式会社 セアールアールン・沖縄 JICA 株式会社 JTA 日航トランスポート・沖縄 Hilton OKINAWA SESOKO RESORT

文化庁 令和4年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

募集期間
実施日時
場所
定員
参加資格
参加方法

～ 2023年01月11日(水)
2023年2月11日(土) 13:00～16:00
パレット市民劇場(那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F)
12名以内
オンラインフォームからご確認下さい。
オンラインフォームからご応募下さい。

参加者
募集

地域日本語教育推進ウェビナー

在留外国人が生活で必要とする日本語を身につけるためには、日本語教育環境を充実させることが必須であり、外国人を取り巻く諸問題の全体的な理解と環境づくりが欠かせません。日本語教育の重要性について考えます。

募集期間 ~ 2023年1月4日(水)
実施日時 2023年1月13日(金)9:30~11:30
場所 ZOOM
定員 40名程度
参加費 受講無料
参加方法 申し込みフォームからお申込みください。

目的
今後地域において外国人のための日本語教育の環境を整備するために、日本語教育の現状や課題、重要性について考えます。

地域日本語教育推進ウェビナー

田村 太郎氏

参加無料

実施日時:令和5年1月13日(金) 9:30~11:30
場所:Zoom 定員:40名程度
申込締切:令和5年1月4日(水)
 (1)申し込み詳細HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>またはQRコードからアクセスできます。
 (2)参加は先着順とし、定員に達したら、募集を締め切ります。予めご了承ください。
対象者:県内に在住する方で、本ウェビナーの趣旨に賛同する一般の方

主催:公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団
住所:沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号 電話:098-942-9215
E-mail: kokusai2@oihf.or.jp **HP:** <https://kokusai.oihf.or.jp/>

文化庁 令和4年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

島嶼県沖縄の地域防災力の向上! 「災害危機管理ウェビナー」

島嶼県沖縄の
地域防災力を高めよう!
災害危機管理ウェビナー

沖縄 震度7

沿岸部津波で壊滅

もしもの時、あなたは どうしますか?

開催趣旨:
集中豪雨や火山噴火、地震などの災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか、空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういったことが起こるのか。
本ウェビナーでは、名古屋大学名誉教授/あいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫氏と六甲アイランド甲南病院循環器内科部長 水谷和郎氏を講師として招聘し、「防災・減災」の意識を高め、また参加者それぞれが地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げる機会を持ち、島嶼県沖縄の地域防災力の向上に資する対応策を考えます。

日時: 2023年1月14日(土) 8:45~12:00
実施方法: ZOOM
講師① 名古屋大学名誉教授 福和伸夫氏
講師② 六甲アイランド甲南病院循環器内科部長 水谷和郎氏

主催: (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> **FB:** <https://www.facebook.com/oihf60>

本ウェビナーでは、名古屋大学名誉教授 / あいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫氏と災害医療に精通する六甲アイランド甲南病院循環器内科部長 水谷和郎氏を講師として招聘します。島嶼県沖縄の地域防災力の向上に資する対応策について考えることを目的に実施します。

募集期間 ~ 2022年12月28日(水)
実施日時 2023年1月14日(土)08:45~12:00
場所 ZOOM(接続確認 08:30~)
定員 30名程度
参加費 受講無料
参加方法 申し込みフォームからお申込みください。

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島

「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指すとともに、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成することを目的に実施します。

募集期間 ~ 2023年2月5日(日)
実施日時 2023年2月17日(金)・18日(土) 9:00~16:00
場所 宮古島市役所(宮古島市平良西里1140番地)
定員 30名程度
参加費 受講無料
参加方法 申し込みフォームからお申込みください。

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島 受講者募集

目的
「防災・減災」に対する意識を高め宮古島地区の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添えるサポーターを育成します。

実施日時・場所
2023年 **2月17日(金)・18日(土)** 9:00~16:00
宮古島市役所大ホール (宮古島市平良西里1140番地)

定員・募集期間等 **30名程度**
 ■12月19日(月)~2023年**2月5日(日)**
 ■講座の内容や応募方法など詳細はHPで!

募集対象者
 ■外国人支援や「防災・減災」に興味がある方ならどなたでも!
 ■語学力は不要!(参加無料)

講座修了認定
 全講座受講者を「災害時外国人支援サポーター」として認定します。

主催: (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団
 住所: 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号
 TEL: 098-942-9215

共催: 宮古島市総務部防災危機管理課
 住所: 沖縄県宮古島市平良字西里1140番地
 TEL: 0980-72-3751 (内線2491)

(公財)日本国際連合協会主催による作文コンテストで 豊見城中学校2年 糸満 愛莉さんが**金賞を受賞**

(公財)日本国際連合協会主催による「第62回国際理解・国際協力」のための全国中学生作文コンテストにおいて、「持続可能な開発目標(SDGs)の中で一つ目標を選ぶとしたら、どのような理由でどの目標を選ぶか。また、その目標をどのように達成するか。」をテーマとして作文で、沖縄県代表の豊見城市立豊見城中学校2年生の糸満 愛莉さんが「金賞」を受賞しました！全国から3,381の応募作品の中から選ばれた快挙です。おめでとうございます！



文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」総合調整会議を開催



OIHFでは文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として、在住外国人に対する県内での日本語教育の推進に寄与する様々な事業を展開しているところですが、その1つとして有識者による総合調整会議を、去る12月9日(金)にP'S SQUAREにおいて実施しました。

3回目となる会議では、約90名の在住外国人に対して実施した聞き取りによる実態調査の結果と、結果に基づいて策定される「沖縄県日本語教育推進計画(案)」に関して、参加する各委員から意見を頂きました。委員からは、「空白地帯での日本語教室が展開されることは理想的ではあるが、実施するための財源や人材の確保が課題である」などの意見が挙げられました。

今後、本推進計画をとりまとめ、広く公表する予定です。

OIHF法人賛助会員様



沖縄ツーリスト

沖縄県商工会
連合会

パシフィックホテル
沖縄